

ノロウイルス対策・対応マニュアル

1、ノロウイルスが流行しやすい時期

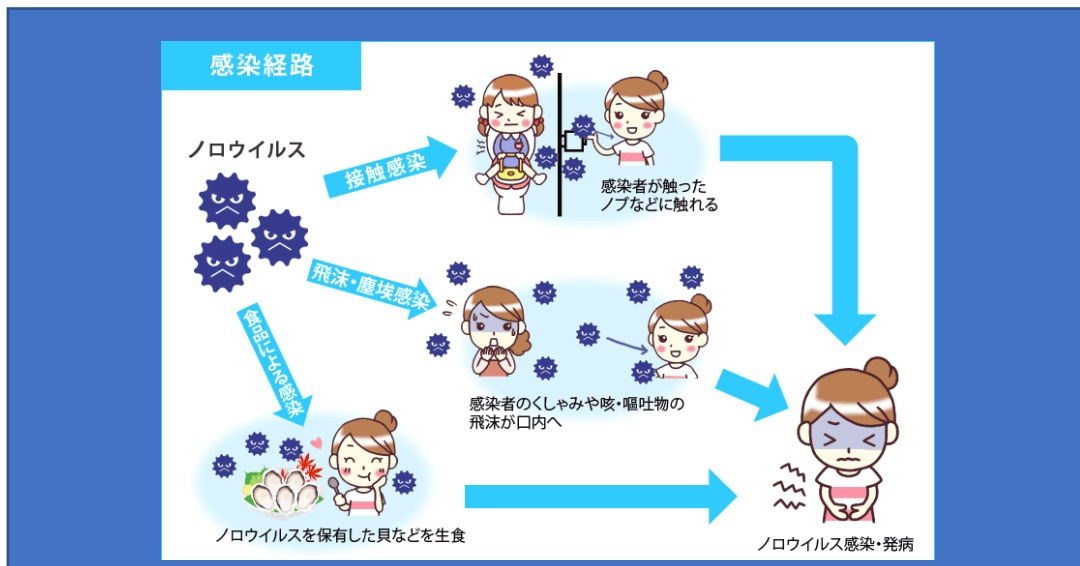
- ・ 11月～3月頃

2、ノロウイルスの症状

- ・ 吐き気、嘔吐、腹痛、下痢（水様便）、37度～38度の発熱
- ・ 潜伏期間は1～2日

3、ノロウイルスの感染経路

- ・ 接触感染（嘔吐物や糞便、ウイルスが付着した物（トイレの便座、ドアノブ、着衣等に触れた手指を介して感染）
 - ・ 飛沫感染（嘔吐物や糞便が飛び散り、その飛沫が口から入って感染）
- ※嘔吐物は周囲2m程度に飛び散る。
- ・ 食中毒感染（ノロウイルスに汚染された食品を食べたり、ウイルスに汚染された調理器具を使用して感染）



3、 ノロウイルスの予防対策

1)体調管理

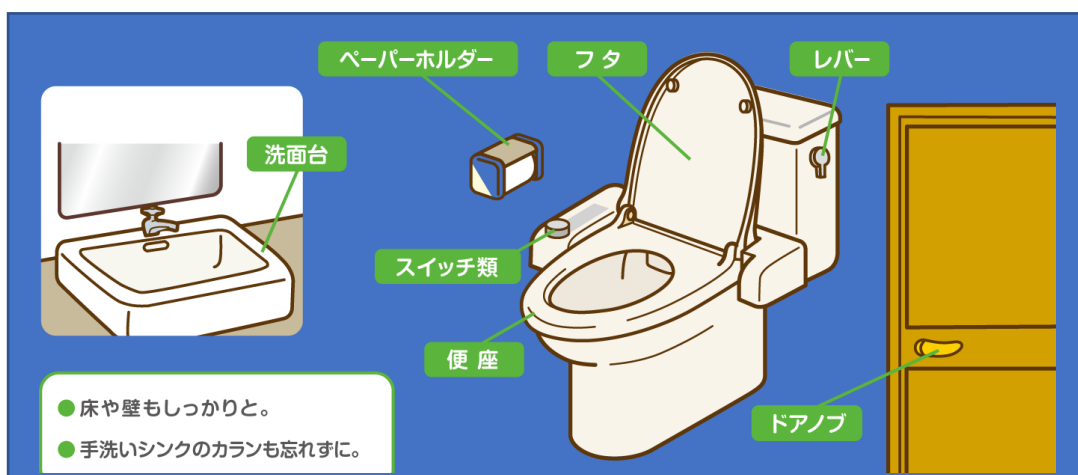
- ・ 来所時に検温及び全身状態の確認を行う。検温結果は業務日誌に記録する。
- ・ 送迎時に学校関係者から情報収集を行う。
- ・ 体調不良がある場合に、保護者から情報提供が行われるように、連携体制を構築しておく。

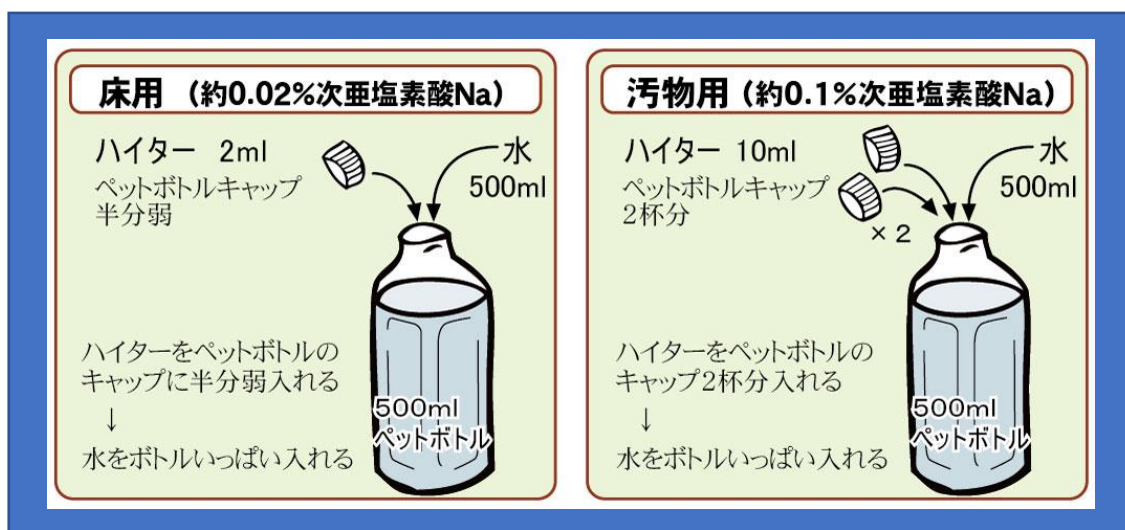
2)手洗い・うがい

- ・ 「外から帰った時、食事やおやつの前、料理活動の前中後、トイレの後」に手洗い（石鹸使用）を行う。
 - ・ アルコール消毒液（エタノール濃度 60%～80%）で手指消毒を行う。
- ※食中毒予防のため、11月～3月の期間は、非加熱調理活動は行なわない。

3)消毒

- ・ ノロウイルスが付着した手指で触れる機会が多い箇所（トイレの便座、トイレの蓋、洗面台、蛇口、ドアノブ、机など）を0.02%に希釈した消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）で消毒する。
 - ・ 調理活動で使用する器具は、調理の前後に0.02%に希釈した消毒液で消毒する。
- ※ドアノブ等の金属部は、次亜塩素酸ナトリウムで消毒すると腐食するため、希釈した次亜塩素酸ナトリウムを散布した布で拭き取るように消毒を行う。





4、嘔吐があった場合の対応

- ・嘔吐があった部屋から清潔な部屋へ児童を誘導する。
- ・嘔吐があった部屋は換気を行う。
- ・感染が疑われる児童は他児との接触をさせないように、別室で安静に過ごさせる。ご家族へ連絡し受診を促す。
- ・嘔吐を繰り返している場合は、無理に水分補給を行わない。
- ・嘔吐処理キットを使用して嘔吐処理を行う。嘔吐処理キットがない場合は、使い捨ての手袋、マスクなどを着用する。
- ・ペーパータオルを使用し、嘔吐物の周囲（直径2 m）の外側から中央に向かって嘔吐物を拭き取っていき、ビニール袋へ廃棄する。
- ・拭き取りに使用した手袋を廃棄し、新しい手袋を着用し、汚染した箇所（直径2 m）にペーパータオルを敷く。ペーパータオルに0.1%に希釈した消毒液を散布し、10～15分放置する。
- ・水拭きで水分が残らないように拭き取る。
- ・拭き取ったペーパー類や使用した道具類は、ビニール袋に廃棄し、ビニール袋の口を縛り2重にして廃棄する。
- ・汚物処理後、手洗いと手指消毒を行う。
- ・嘔吐物処理後、しばらくは部屋の喚起を継続する。

『おう吐物の処理方法』

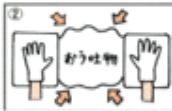
感染者を増やさないために、おう吐物処理者も、周りの人も感染しないようにしましょう。



① 窓を開けて換気をよくし、手袋・マスクを着用する。
【感染拡大防止のため】



④ 汚物の入った袋と使い捨て手袋をビニル袋に入れて口を縛り廃棄する。



② 使い捨ての布やペーパータオルで中心部へかき集めるようにしておう吐物を拭き取り、ビニル袋に入れ口を縛る。



⑤ 終了後は、必ず手を洗います。
2度洗いが有効です。



③ 1000ppm 消毒液を浸したタオルで 10 分間覆い（ノロウイルスを失活させる。）、その後、水拭きする。畳、カーペット等消毒液を使用出来ない場合は、熱湯・スチームアイロンをかけることも有効です。〔85～90℃90 秒間以上加熱〕

1000ppm 消毒液: 500mL のペットボトルに次亜塩素酸ナトリウム（6%）をペットボトルのキャップ2杯入れ、水を加えて 500mL とする。（次亜塩素酸ナトリウムの使用に当たっては表示されている「使用上の注意」を確認しましょう。）

ノロウイルスの飛散に注意！
嘔吐物の処理方法

みんなのい護



半径 2 m

嘔吐物があった周りを
広めに消毒します。



5、 嘔吐物が着衣についた場合の対応

- ・嘔吐処理キットを使用する。マスク、ビニール手袋を着用する。
 - ・汚染された衣類を脱がせ、衣類についた嘔吐物をペーパータオルなどで拭き取る。拭き取った後に流水で洗う。
 - ・汚物の処理に使用した道具はビニール袋に入れて、口を縛り 2 重にして廃棄する。
 - ・バケツの中に 0.1% に希釈した次亜塩素酸ナトリウムを準備し、30 分間つける。
 - ・消毒後、衣類は洗濯機で洗濯する。
 - ・洗浄に使用した水場やバケツ類の洗浄と消毒を行う。
 - ・汚物処理後は手洗い、手指消毒を行う。
- ※嘔吐で消毒した衣服の代わりに、買い置きの衣服を着用させる。
- ※嘔吐物が付着した物と、通常の洗濯物は分けて洗濯する。

6、 利用停止期間について

- ・治癒証明は不要だが、医師の判断をもって行う。